

会

告

日本鉄鋼協会第50回通常総会開催御通知

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 湯 川 正 夫

本会第50回通常総会を下記の通り開催いたしますので、何卒ご出席下されたくご案内申し上げます。
なお総会にご出席なさるぬ会員各位には、別添委任状に記名捺印の上ご送付下さるか、またはご意見を4月3日（土）までに本会宛お申し出下さい。これらの手続をとられない場合は総会の決議事項にご異議なきものとして、取扱いをさせていただきますからご了承下さい。

記

日 時	昭和39年4月5日（月）13時より
会 場	東京都文京区本富士町 東京大学工学部2号館大講堂
議 案	(1) 昭和39年度事業報告、収支決算ならびに財産目録の件 (2) 昭和40年度事業計画ならびに収支予算の件 (3) 理事、監事ならびに評議員選挙の件
表 彰 式	(会告 N12 ページ参照)

理事・監事ならびに評議員投票について

第50回通常総会（昭和40年度）において選挙せらるべき理事、監事ならびに評議員候補者は、定款施行細則第6条により評議員会において別紙投票用紙（会告N13ページ）に記載の通り推薦せられました。ついては名誉会員、賛助会員、維持会員および正会員各位は右候補者につき下記要領によりご投票下さるようお願いいたします。

投 票 要 領

- (1) 投票用紙には、ご異議のある方に×印をつけ、その代りにご推薦下さる方の氏名を記入して下さい。
- (2) 投票用紙は本会所定のものをご使用下さい。
- (3) 当日総会にご出席にならぬ方は綴込みの委任状に記名捺印のうえ協会宛ご送付下さい。
- (4) ご投票、委任状の送付がありません場合には原案にご賛成のことと拝承させていただきます。

服部賞, 香村賞, 俵論文賞, 渡辺三郎賞 渡辺義介賞, 渡辺義介記念賞 受賞者について

本会におきましては、表彰規程により表彰選考委員会を設け、昭和40年度標記各賞受賞者の選考を慎重に行ないました結果、下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお表彰式は、4月5日(月)開催の第50回通常総会の議事終了後に行なわれます。

服 部 賞	富士製鉄(株) 取締役広畑製鉄所副所長	田地川 健 一 君
香 村 賞	八幡製鉄(株) 取締役(ミナスジェライス出向)	池 田 正 君
俵 論 文 賞	東京大学生産技術研究所 助教授	館 充 君
	〃 助手	中 根 千 富 君
	〃 助手	金 鉄 祐 君
	〃 助手	鈴 木 吉 哉 君
渡 辺 三 郎 賞	大同製鋼(株) 常務取締役	磐 城 恒 隆 君
渡 辺 義 介 賞	前東海製鉄(株) 社長	伊 藤 隆 吉 君
渡 辺 義 介 記 念 賞	尼崎製鉄(株) 堺製鉄所副所長	青 山 芳 正 君
	大阪大学理学部教授	池 田 重 良 君
	八幡製鉄(株) 八幡製鉄所八幡製造所技術部副長	石 原 重 利 君
	日本鋼管(株) 技術部次長	植 木 久 君
	(株) 日本製鋼所室蘭製作所材料企画課長	川 口 三 郎 君
	東洋鋼鋳(株) 下松工場技術部副長	久 能 一 郎 君
	日曹製鋼(株) 研究部長	佐 藤 良 吉 君
	日本鋼管(株) 富山電気製鉄所長	塩 谷 周 三 君
	茨城大学工学部教授	相 馬 胤 和 君
	京都大学工学部教授	平 修 二 君
	久保田鉄工(株) 取締役鑄物事業部長	竹 中 哲 哉 君
	住友金属工業(株) 和歌山製鉄所工程部次長	津 田 信 二 君
	金属材料技術研究所工業化第1研究室長	中 川 龍 一 君
	川崎製鉄(株) 技術部長	永 石 六 雄 君
	朝日製鉄(株) 取締役製造部長	山 川 正 治 君

投票用紙

(敬称略)

理事候補者 (任期2年 12名)

荒木 透	伊木 常世	今井 光雄	大中都四郎	海江田弘也	桂 寛一郎
草川 隆次	田畑新太郎	俵 信次	丹羽貴知蔵	松下 幸雄	三ヶ島秀雄
村田 巖	盛 利貞	山本真之助			

監事候補者 (任期2年 1名)

吉崎 鴻造

評議員候補者 (任期2年 120名)

足立 彰	青 武雄	明石 和彦	秋田 武夫	浅野樺一郎	井上 友喜
井上 道雄	井村 竹市	伊藤 正夫	石井健一郎	石田 稔	猪崎久太郎
稲田 辰男	稲山 嘉寛	植山 義久	梅津 良之	遠藤勝治郎	小野 健二
大久保 謙	大谷 秀数	大谷米太郎	大野 嘉市	大原 久之	大森 基一
大矢根大器治	岡田 儀一	岡田 実	岡村 武	沖 豊治	香春三樹次
嘉村 平八	柏村 寿雄	門野 正二	金田 義夫	川勝 一郎	河上 益夫
河田 和美	菊池 浩介	栗山 俊治	小出 秋彦	幸田 成康	後藤 武夫
佐々川 清	佐藤 忠雄	佐藤武三郎	斎藤 正年	斎藤 弥平	酒井 佐敏
阪田 純雄	雀部 高雄	里井孝三郎	清水 莊平	島村 哲夫	菖蒲 正俊
梶山 正孝	関 文男	田口 連三	田所 怜	田中 勘七	田中 実
多賀谷正義	高瀬 孝夫	滝沢 工	竹原 康夫	谷川 正夫	茶谷 順次
津田 久	塚本 清	筒井統一郎	妻木 貞一	外島 健吉	富山英太郎
名児耶 馨	中野 義雄	南里 辰次	西 博	西野 武彦	西村 秀雄
橋口 隆吉	長谷川正義	蜂谷 茂雄	浜田 正信	久松 敬弘	平世 将一
平田 竜馬	不破 祐	深堀 佐市	藤田 俊三	藤本 一郎	本田宗一郎
堀口 定雄	前岡 実	前田 菊雄	増本 量	の場 幸雄	松平 精
松本兼二郎	松本 豊	水島三一郎	水上 達三	水野庸太郎	宮下格之助
村尾時之助	室井嘉治馬	望月 要	森崎 晟	森田 志郎	矢島悦次郎
矢野 雅雄	安田 勇治	山野上重喜	山内 二郎	山口 利彦	山田良之助
山本 信公	横田 正成	横山金三郎	吉岡 正三	吉田 浩	吉田 衛

創立 50 周年記念特別表彰について

本会は創立 50 周年を記念して記念準備委員会内に褒賞小委員会を設け、50周年記念特別表彰について慎重に検討を重ねてまいりましたが、下記のごとく決定いたしましたのでお知らせいたします。なお表彰は4月6日(火)開催の創立50周年記念式典の際に行なわれます。

1. 俵 賞 (金牌および副賞)

本賞は俵国一博士の遺徳を讃え、創立 50 周年を記念して設けられたもので、内外を問わず鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究開発に画期的功績があり、国際的に声誉ある者に授けられます。第1回の俵賞受賞者は下記の通りであります。

俵賞受賞者

東京大学名誉教授、前会長

三 島 徳 七 君

2. 製鉄功労賞 (賞状および賞牌)

本賞はわが国鉄鋼業の進歩発達または学術技術の研究開発に特別の功労のあつた者に授与されます。受賞者は下記の通り。

製鉄功労賞受賞者

住友金属工業株式会社専務取締役

小 田 助 男 君

大阪製鋼株式会社会長

高 石 義 雄 君

株式会社神戸製鋼所社長

外 島 健 吉 君

日本鋼管株式会社常務取締役

富 山 英太郎 君

科学技術庁金属材料技術研究所長

橋 本 宇 一 君

富士製鉄株式会社副社長広畑製鉄所長

平 世 将 一 君

東北大学名誉教授

的 場 幸 雄 君

株式会社日本製鋼所社長

柳 武 君

八幡製鉄株式会社副社長

湯 川 正 夫 君

3. 協会事業功労者

本賞は本会事業推進のため特別の功労のあつた者に授与されます。受賞者は下記の通り。

協会事業功労賞受賞者

トピー工業株式会社専務取締役

伊 木 常 世 君

三菱製鋼株式会社大島製作所副所長

内 山 道 良 君

日本鋼管株式会社取締役技術部長

桂 寛一郎 君

東京工業大学教授

作 井 誠 太 君

八幡製鉄株式会社常務取締役

武 田 喜 三 君

早稲田大学理工学部教授

長谷川 正 義 君

日本鉄鋼協会参与

橋 本 芳 雄 君

東京大学工学部教授

松 下 幸 雄 君

富士製鉄株式会社取締役中央研究所副所長

村 田 巖 君

名 誉 会 員 推 挙 に つ い て

本会では創立 50 周年記念式典に海外より 20 名の方を招待いたしますが、これらの方々はそれぞれ自国において鉄鋼業界、学界にあつて指導的地位にありますので、理事会および評議員会の議決を経て、下記の方々を本会名誉会員に推挙いたすことに決定いたしました。

推挙式は創立 50 周年記念式典の際に行ない、名誉会員推挙状ならびに名誉会員章を贈呈することになりましたのでお知らせいたします。

名誉会員推挙者芳名

Australia

Dr. R. C. Gifkins
President
Australian Institute of Metals

Belgium

Prof. Dr. Pierre Coheur
Prof. a l'Université de Liege
Administrateur-Gérant
C.N.R.M.
Mr. Pierre van der Rest
President
Comité de la Sidérurgie Belge
Groupement des Hauts-Fourneaux

France

Mr. Jacques Ferry
President
Chambre Syndicale
de la Sidérurgie
Française
Dr. M. Allard
Director Général
IRSID
Prof. Dr. P. Lacombe
President
Société Française de Métallurgie
Mr. Henri Malcor
Président de la Compagnie
des Acieries de la Marine de Firminy,
et de St-Etienne

Germany

Prof. Dr. Willy Oelsen
Direktor des Max-Planck Institut für
Eisenforschung
Mr. E. W. Mommsen
Vorstandsmitglied
Phoenix-Pheinstahl A.G.

Great Britain

Sir Andrew McCance
Honorary President
Colvilles Ltd.

India

Dr. Bal Raj Nijhawan
Director
National Metallurgical Laboratory

Italy

Prof. Dr. Antonio Scortecchi
Direttore Istituto Siderurgie Finsider
Direttore Laboratorio Metallurgia
Dell' Università di Genova

Latin America

Dr. Carlos Prieto
Presidente
Instituto Latinoamericano del Fierro y el
Acero

Netherlands

Mr. Alexander Drijver
Managing Director
Koninklijke Nederlandsche Hoogovens
En Staalfabrieken N.V.

Sweden

Mr. H. Abenius
Chairman
Jernkontoret

U.S.A.

Dr. J. B. Austin
Administrative Vice President
Research and Technology
United States Steel Corporation
Dr. J. A. Fellows
President
A.S.M.
Mr. W. B. Stephenson
President-Elect.
A.I.M.E.

50周年記念特別講演会開催について

創立50周年記念式典に参加されるアメリカの John Chipman 博士, イタリーの A. Scortecchi 博士の両氏に特にお願いして, 4月7日(水) 東京大学法文経2号館31番教室において下記のごとく特別講演会を開催することになりましたので, 多数会員ご来聴下さるようご案内いたします。

記

13:00～ 溶融合金鋼中の非金属性元素に関する熱力学的研究

Prof. Dr. John Chipman

15:00～ 鉄鋼業の生産と品種の将来への提言

Prof. Dr. Antonio Scortecchi

第69回講演大会会場案内 (プログラム2ページ略図参照)

	第 1 日 (4月5日)	第 2 日 (4月6日)	第 3 日 (4月7日)
通常総会 表彰式	2号館大講堂 (13:00～14:30)		
第 1 会場	3号館31番教室	3号館31番教室	3号館31番教室
第 2 会場	3号館37番教室	3号館37番教室	3号館37番教室
第 3 会場	2号館21番教室	2号館21番教室	2号館21番教室
第 4 会場	2号館25番教室	2号館25番教室	2号館25番教室
第 5 会場	2号館26番教室	2号館26番教室	2号館26番教室
第 6 会場	3号館36番教室	3号館36番教室	3号館36番教室
第 7 会場	3号館34番教室	3号館34番教室	3号館34番教室
第 8 会場	3号館35番教室	3号館35番教室	3号館35番教室
創立50周年記念式典		安田講堂 (13:00～17:00)	
特別講演会			法文経2号館31番教室 (13:00～15:00)

第 70 回講演大会開催地ならびに講演申込みについて

第70回講演大会開催地ならびに講演申込締切日は下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 開催地 福岡県北九州市
2. 会 期 昭和40年10月中旬の予定
3. 会 場 九州工業大学(北九州市戸畑区中原)

4. 講演申込締切日 昭和40年5月17日(月)
5. 講演募集 募集案内は会誌第5号(4月号, 講演論文集Ⅱ) 会告欄に掲載いたします。

50周年祝賀会会場および見学会集合場所

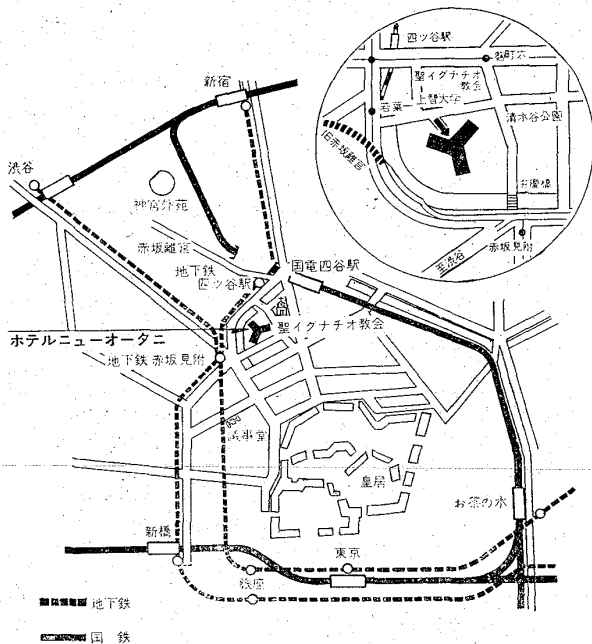
50周年祝賀会の会場および見学会集合場所の略図は下記の通りですので、50周年祝賀会、見学会に参加の方は間違いなく、定刻までにご集合下さるようお知らせいたします。

なお、見学会第1班の集合場所は日立駅前です。

50周年祝賀会会場付近略図

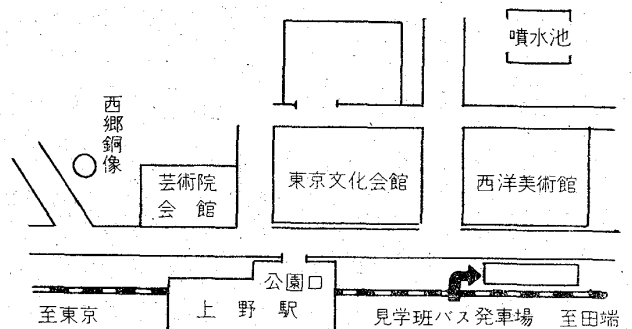
乗 物

国電四ツ谷駅
地下鉄(丸の内線)
四ツ谷駅、赤坂見付駅 } 下車いずれも徒歩5分

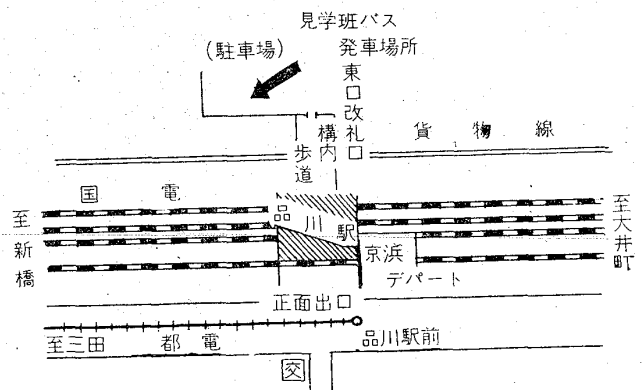


見学班集合場所付近略図

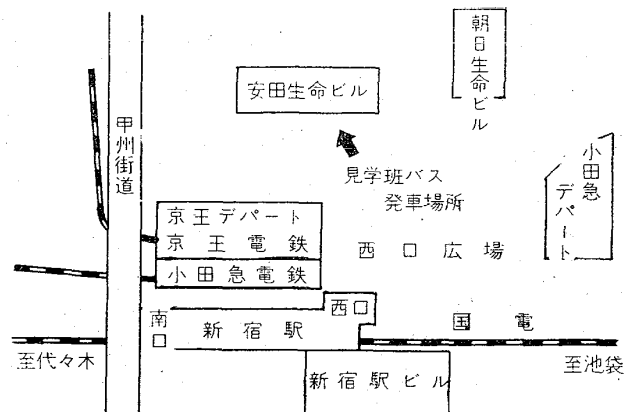
第2班～第5班集合場所（上野駅公園口前）



第6班～第12班（品川駅海岸口前）



第13班～第14班（新宿駅西口前）



俵賞設定および俵論文賞名称変更について

本会では創立 50 周年を記念して国際的な賞（金牌）の新設を検討いたしておりましたが、本会創始者の一人である俵国一博士の遺徳を讃え、名称を「俵賞」として新らしく賞を設定することに決定いたしました。本賞は内外を問わず鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究

開発に画期的功績があり、国際的に名声のある者に対し授与されることになりましたのでお知らせいたします。

これに伴ない、従来「最優秀論文」に対して授与されておりました俵賞は、名称を「俵論文賞」と改めることになりましたので合わせお知らせいたします。

表彰規程の変更について

本会では創立 50 周年を記念して前掲のごとく国際的な賞（金牌）を新設しその名称を俵賞とすることとなりました。これに伴って最優秀論文を対象とする従来の俵賞の名称を俵論文賞と改め、また従来創立 10 周年ごとに実施しておりました製鉄功労賞および協会事業功労賞に関する規定を新たに設けるなど表彰規程の変更を決定いたしましたのでお知らせいたします。

表 彰 規 程

- 第1条 本会は鉄鋼に関する学術、技術奨励の目的をもつて、この規程により表彰を行なう。
- 第2条 表彰を分けて一般表彰および特別表彰とし、一般表彰は毎年行ない、特別表彰は特別の時期に行なう。
- 第3条 一般表彰のため、本会に服部賞、香村賞、俵論文賞、渡辺三郎賞、渡辺義介賞、渡辺義介記念賞を設ける。
- 第4条 服部賞は、鉄鋼に関する学術上、技術上の進歩発達に顕著な貢献をした者に授与する。
- 第5条 香村賞は、鉄鋼の理論または作業に関する有益な発見、発明または考案を得た者に授与する。
- 第6条 俵論文賞は、本会会誌「鉄と鋼」に掲載された前1カ年の論文（従前より引続き掲載されたものを含む）を審査し学術上、技術上最も有益な論文の寄稿者に授与する。
- 第7条 渡辺三郎賞は、特殊鋼の学術上、技術上の進歩発達に顕著な貢献をした者に授与する。
- 第8条 渡辺義介賞は、わが国鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究に卓越した功績のあつた者に授与する。
- 第9条 渡辺義介記念賞は、わが国鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究に多大の功績のあつた者

に授与する。

- 第10条 服部賞、香村賞、俵論文賞、渡辺三郎賞および渡辺義介賞は、賞状および賞牌とし（副賞を添えることがある）その数は毎年それぞれ1とする。渡辺義介記念賞は、賞状および賞金としその数は毎年15以内とする。共同の研究者または作業者に授与する場合もその賞は1とする。

- 第11条 一般表彰の受賞者は次の方法により決する。

1. 受賞候補者の推薦者は、本会理事、前会長、評議員、支部長、常務委員および維持会員とする。
本会編集委員は、俵論文賞受賞候補者を推薦することができる。
広く内外の学、協会または専門家に委嘱して推薦を求め、参考とすることがある。
2. 推薦しようとする者は、候補者の履歴書および推薦書および推薦理由を付し、書面をもつて本会会長に申し出るものとする。
3. 受賞者の選考は毎年1回表彰選考委員会で行なう。
一般表彰 選考委員会は委員長および10名以内の委員で組織する。
委員長は、会長がこれに当り、委員は理事会で選任し、会長が委嘱する。
4. 委員会は、第2項により推薦された候補者のうちから適当と認める者を選定し、決定候補者とする。
5. 会長は、決定候補者につき理事会に諮り授賞の可否を決定する。

- 第12条 特別表彰のため本会に製鉄功労賞、協会事業功労賞および俵賞を設ける。

- 第13条 製鉄功労賞および協会事業功労賞の表彰は本会

創立10周年ごとに1回行ない、俵賞の表彰は原則として3年ごとに1回行なう。

第14条 製鉄功労賞はわが国の鉄鋼業の進歩発達または学術技術の研究開発に特別の功労のあつた者に授与する。

製鉄功労賞は賞状および賞牌としその数は10以内とする。

第15条 協会事業功労賞は本会の事業推進のため特別の功労のあつた者に授与する。

協会事業功労賞は賞状および記念品としその数は15以内とする。

第16条 俵賞は本会の創始者俵国一博士の遺徳を讃え、創立50周年を記念して設定したもので、内外を問わず鉄鋼業の進歩発達または学術、技術の研究、開発に画期的功績があり、国際的に声誉ある者に授与する。

俵賞は賞状および賞牌(金牌)とし、(副賞を添えることがある)その数は1とする。

第17条 特別表彰の受賞者は次の方法により決定する。

1. 受賞者の選考はその都度設けられる特別表彰選考委員会で行なう。
2. 委員会の組織は一般表彰選考委員会の例に準ずる。

3. 会長は委員会で選考した候補者につき理事会に諮り授賞の可否を決定する。

第18条 賞の授与は通常総会において会長が行なう。ただし、適当な候補者がいないときは授賞を行わず、またほかの適当な時期に授賞を行なうことができる。

第19条 一般表彰のうち服部賞、香村賞、俵論文賞および渡辺三郎賞に要する経費は、表彰ならびに事業資金から、渡辺義介賞および渡辺義介記念賞に要する経費は八幡製鉄渡辺記念資金から支弁する。

特別表彰に要する経費は一般予算から支弁する。

第20条 この規程の変更および廃止は、本会理事会の立案に基づき、評議員会の議決を経て行なうものとする。

付 則

1. 昭和33年12月12日制定の表彰規程は廃止する。
2. この規程は昭和40年2月17日から施行する。
3. 昭和40年度の特別表彰の選考に限り、規程第17条の規定にかかわらず、特別表彰選考委員会を設けず50周年記念事業委員会褒賞小委員会において代行するものとする。

第2回理工学における同位元素研究発表会について

本会ほか 42 学協会共同主催による標記研究発表会が下記の通り開催されますので、多数会員奮つてご参加下さるようお知らせいたします。

記

1. 日 時 昭和40年4月20日(火)、21日(水)、22日(木) 9:00 より
2. 会 場 東京大学医学部 (第Ⅰ、Ⅱ会場)
〃 薬学部 (第Ⅲ会場)
3. プログラム (鉄鋼に関係ある講演)
4月21日(水) 第Ⅰ会場 13:00 より
1) ^{222}Rn による高圧高炉の炉内ガス分布の測定
富士製鉄、広畑 宮川一男、他
2) 黒鉛定盤および補修用モルタルの
鋼塊への混入について
富士製鉄、広畑 野村悦夫、他

3) 造塊時に投入したメタリック ^{140}La に起因する鋼塊内一次脱酸生成物に関する研究

八幡製鉄、技研 森 久、他

4) 鋼中におけるタルタルの偏析現象について
(放射性同位元素による鋼中特殊元素の挙動解析に関する研究)

神戸製鋼所、中研 谷口政行、他

なお詳細については下記にお問合わせ下さい。

東京都文京区駒込上富士前31 理化学研究所内

日本放射性同位元素協会

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

(電話 東京 946-7111)

第4回 X線応力測定に関するシンポジウム講演募集

主催 日本材料学会
 協賛 日本機械学会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会
 日本非破壊検査協会, 日本溶接協会, 溶接学会
 形式 講演会およびパネル討論
 開催日 昭和40年7月9日(金), 10日(土)の予定
 会場 東京都内
 講演申込締切 昭和40年5月10日(月)
 前刷原稿締切 昭和40年6月5日(土)
 本会原稿用紙(552字詰)に図, 表を含め約
 3,000字程度ご執筆ください。

申込方法 随意用紙に下記事項を明記のうえお申し込みください。

- 1) 第4回 X線応力測定に関するシンポジウム講演申し込みと表記
- 2) 演題
- 3) 講演概要(200字以内)
- 4) スライド使用の有無
- 5) 講演者および連名者の氏名, 所属, 連絡先を明示(講演者には○印をつけること)

なお, 本シンポジウムの講演内容はすでに発表されたものでも結構ですが, なるべく最近の研究を希望します。

申込先 日本材料学会シンポジウム係あて
 京都市左京区吉田泉殿町1の101
 電話 京都 77-1912

第9回材料試験連合講演会講演募集

共催 日本学術会議材料試験研究連絡委員会, 日本鉄鋼協会ほか17学協会
 (幹事学会: 日本機械学会, 日本鉄鋼協会, 日本化学会, 日本材料学会)

日時 昭和40年9月9日(木), 10日(金)

会場 東京都内

- 講演申込
1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申し込み, 参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。
 2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが, 最近の研究に属するものが望ましい。なお研究内容は材料の諸物性, 諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。
 3. 講演時間は約20分(討論を含む)の予定。
 4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙はB5版とし, 次の事項を必ず記載すること。
 - a. 講演題目, b. 梗概約200字, c. 講演部門名, d. 講演ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会資格, 年令(連名の場合には登壇者に○印をつけること), e. 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること, f. スライド使用の有無(大きさは35mm), g. 欧文論文集(付記参照)へ投稿希望の有無

注) 第1部 金属材料, 第2部 非金属材料(有機物無機物), 第3部 一般(材料試験機, その他)。

申込締切 昭和40年6月21日(月)

講演前刷 聴講者のテキストとし, あわせて講演時間の短縮, 掛図などの節約のため, 講演者全部の講演前刷を作るので, 講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ(参加学会会員以外の方は申し込んだ幹事会へ)提出すること。

- a. 講演前刷原稿提出期日 7月20日(火)
- b. 前刷原稿は規定の原稿用紙2枚以内(図, 表, 写真を含めて邦文で約2600字)に明りように墨書し, なるべく余白を避けるように留意のこと(講演前刷はオフセットになるので写真も入れることが出来る)
- c. 所定原稿用紙は講演申込み者に所属学会から送り, 所定用紙以外に書いた原稿は受付けない。

(付記)

1. 発表論文は Proceedings of the Ninth Japan Congress on Testing materials にのせ, 諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に登載される論文は今回発表されたもので, 欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し講演会当日までに日本材料学会(京都市左京区吉田泉殿町1の101 電話 京都77-1912 番)に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また, 不備な原稿は返却することがある。

刊 行 図 書 分 譲 案 内

訪英鉄鋼視察団報告書

I. 英国鉄鋼業の現況 総括編

(1) 内 容

1. 鉄鋼業を中心にした英国の一般状勢
2. 歴史的背景と地理的分布
3. 構造および組織
4. 原料事情および立地条件
5. 価格政策および市場構造
6. 工場建設と投資
7. 製鉄および製鋼関係技術
8. 圧延および製鋼関係技術

9. オートメーションの現状とその研究

10. 研究開発および品質管理組織

11. 労働および教育訓練

12. 英国鉄鋼協会総会の模様

(2) 頒 価 会 員 600円 (送料1部 60円)
非会員 900円

(3) 申込方法 「視察団報告書・総括編」および送付先を明記、代金ならびに送料を同封のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

訪英鉄鋼視察団報告書

II. 英国鉄鋼業の現況 各論編

(1) 内 容

1. 製鉄について
2. 製鋼について
3. 連続鑄造について
4. 条鋼圧延について
5. 厚板圧延および熱間帯鋼圧延について
6. 薄板および表面処理について
7. 製管工業について
8. オートメーションの現状とその研究について

9. 工場建設について

10. 研究について

11. 鉄鋼業標準化について

(2) 頒 価 会 員 1,200円 (送料1部 120円)
非会員 1,800円

(3) 申込方法 「視察団報告書・各論編」および送付先を明記、代金ならびに送料を同封のうえ現金書留にてお申込み下さい。

III. 鋼の脱酸の物理化学的原理

(1) 内 容

1. 鉄と酸素
2. 各種元素の脱酸能
3. 溶鉄中の酸素の活量におよぼす脱酸元素の影響
4. 脱酸反応物の生成と溶鋼からの分離
5. 鋼の再酸化
6. 脱酸元素とイオウ、窒素との反応
7. 真空中の鋼の脱酸
8. 将来における研究の動向と内容

(2) 著 者 A. M. SAMARIN (ソ連)

(3) 校 関 的場幸雄

(4) 訳 者 九州大学工学部教授鉄鋼冶金教室
工博 川 合 保 治
東北大学選鉱製錬研究所教授
工博 大 谷 正 康

(5) 頒 価 会 員 900円 (送料1部概算100円)
非会員 1,300円

(6) 申込方法 「鋼の脱酸」および送付先を明記のうえ、代金(送料とも)を同封現金書留にてお申込み下さい。

分譲申込先

東京都千代田区丸の内 1-1 交通公社ビル

日 本 鉄 鋼 協 会 電 (212) 7851 (代表)